



年末年始の薬の取り扱いについて

年末年始（12/28(金)17:00～1/4(金)8:30）に使用する薬剤の請求は以下の通りになっています。

【内服・外用薬：調剤室（2669）】

年末年始に投与予定の処方箋は12/28(金)17:00までにオーダーしてください。上記期間中の内服・外用薬処方箋は薬剤部にて出力されます。また、入院時間外処方箋は長期コメントを入力しても最大3日分しか処方できませんのでご注意ください。時間外は薬剤部のシステムが稼働していないため、薬品説明文書提供、自動錠剤分包は行うことができませんので、ご了承ください。

【注射薬：注射調剤室（2724）】 予定注射の締切日にご確認ください。

実施日	入力締切日	交付日
12/28～12/31	12/27(木)の各診療科の締切時間まで	12/27(木)
1/1～1/4	12/28(金)の各診療科の締切時間まで	12/28(金)

※病棟在庫を有効活用していただき、協定在庫使用でオーダーして下さい。翌日にストック使用分として病棟へ送付します。

【院内製剤：製剤室（2666）】 12/29(土)～1/3(木)使用分は、12/25(火)までにご請求ください。

【薬物血中濃度：研究室（2671）】 12/29(土)～1/3(木)まで休止します。

【処置薬：薬務室（2667）】

12/29(土)～1/3(木)使用分は、12/20(木)の17時までにご請求ください。払出しは12/25(火)です。

（年始の発注は1/7(月)17時締切、払出しは1/10(木)。）

※年末年始の連絡先は2669へ

麻薬免許証の期限切れにご注意ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌年の12月31日までです。来年は「第12-」、「第13-」以外はすべて無効になります。今一度ご確認ください。

抗がん剤使用時の有害事象で死亡、検査異常値を認識せず

抗がん剤使用時において、添付文書上に記載されている必要な臨床検査値が異常を示していたが認識せず、死亡した事例が2例報告されました。医薬品において添付文書に記載されている定期的に検査が必要な項目の見落とし、未実施は責任を問われる可能性があります。添付文書の詳細は、医薬品医療機器総合機構ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）でご確認ください。

メサドン塩酸塩製剤使用に関する留意事項

★メサペイン錠（一般名：メサドン塩酸塩）＜癌疼痛治療薬＞（発売日未定）

本剤は、重大な副作用としてQT延長や心室頻拍等があり、適正使用のために流通管理を実施する等の承認条件が付与されています。処方・使用にあたり講習会・eラーニング等の受講が必要となります。発売日は未定であり、現在処方できません。

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T121002I0030.pdf#search='%E3%83%A1%E3%82%B5%E3%83%89%E3%83%B3'>

適正使用のお願い

★プラザキサ cap75・110mg(一般名:ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩) <直接トロンビン阻害薬>

腎機能の確認と出血に関する患者さんへの指導について、2011年8月に安全性速報を配布し注意喚起を行ってまいりました。しかし、その後も、禁忌に該当する「透析患者を含む高度腎障害患者」への投与例において、死亡に至った例も報告されています。本剤投与前に必ず腎機能を確認し、患者さんに次回受診前でも出血等があった場合には、直ちに医師に連絡するようご指導ください。

http://www.bij-kusuri.jp/information/attach/pdf/pxa_cap_info_201210.pdf

★ビ・シフロール錠 0.125・0.5mg、ミラペックス LA 錠 0.375・1.5mg(一般名:プラミペキソール塩酸塩水和物) <抗パーキンソン病薬>

患者さんに本剤の突発的睡眠および傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意徹底してください。

http://www.bij-kusuri.jp/information/attach/pdf/bif_mra_info_201212.pdf

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 296

★医薬品副作用被害救済制度の支給・不支給決定の状況と適正に使用されていない事例が多く見られる医薬品について

医薬品副作用被害救済制度において、医薬品の使用が適正でなかったために救済給付が認められなかった事例が散見されている。適正に使用されていない事例が多く見られる医薬品を紹介するとともに、医薬品の適正使用の徹底をお願いする。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介します。

◎イマチニブメシル酸塩(商品名:グリベック錠 100mg) <抗悪性腫瘍薬>

【重大な副作用】肺高血圧症: 十分観察、呼吸困難、胸痛等の症状があらわれた場合には投与中止とともに、他の病因(胸水、肺水腫等)との鑑別診断を実施した上で適切な処置。

※肺高血圧症関連症例: 1例(うち死亡0例)(平成21年4月1日~平成24年7月26日)

◎セフトリアキソンナトリウム水和物(商品名:セフィローム静注用 1g(緊急購入薬)) <抗菌薬>

【重大な副作用】

・汎血球減少

・間質性腎炎

・意識障害: 意識消失、意識レベルの低下等の意識障害があらわれることあり、十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。高度腎障害患者での発現が多数報告。

※汎血球減少関連症例: 2例(うち死亡0例)(平成21年4月1日~平成24年9月18日)

※間質性腎炎関連症例: 3例(うち死亡0例)

※意識障害関連症例: 6例(うち死亡0例)

◎メキシレチン塩酸塩(商品名:メキシチール cap50・100mg、点滴静注 125mg) <不整脈用薬>

【重要な基本的注意】

心臓ペースング閾値を上昇させる場合があり、恒久的ペースメーカー使用中、あるいは一時的ペースング中の患者に対しては十分注意して投与。また、ペースメーカー使用中患者に投与する場合は適当な間隔でペースング閾値を測定。異常が認められた場合には直ちに減量又は投与中止。また、本剤は植え込み型除細動器(ICD)の除細動閾値を上昇させる場合があり、ICDを使用している患者に本剤を追加投与した場合又は本剤の投与量の変更を行った場合には、十分注意して経過観察。(下線部は経口剤のみ)

【重大な副作用(経口剤)】

・過敏症候群: 過敏症候群に伴い、1型糖尿病を発症しケトアシドーシスに至った例も報告されている、このような場合は適切な処置。

・房室ブロック



※過敏症候群に伴う糖尿病関連症例: 7例(うち死亡0例)(平成21年4月1日~平成24年9月20日)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)
又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

包装変更等のお知らせ



★エピスタ錠 60mg(一般名:ラロキシフェン塩酸塩)＜骨粗鬆症治療薬＞

販売提携終了に伴い販売移管 (2013年1月1日以降)。

	変更前		変更後
販売元	中外製薬株式会社	→	日本イーライリリー株式会社
PTP シート デザイン			

★スプレキュア点鼻液 0.15%・MP 皮下注用 1.8(一般名:ブセレリン酢酸塩)＜GnRH 誘導体制剤＞

サノフィ・アベンティス社名変更に伴う包装等の製造販売元の社名及びロゴマーク変更。

変更前		変更後
サノフィ・アベンティス株式会社 	→	サノフィ株式会社 

★アーテン錠 2mg、ナパゲルンローション 3%、フォトフリン静注用 75mg、プレマリン錠 0.625mg、ミノマイシン顆粒 2%、ミノマイシン錠 50mg、メトトレキサート錠 2.5mg、注射用メトトレキサート 5mg・50mg、メトトレキサート点滴静注液 200mg、リウマトレックス cap2mg、ロイコボリン注 3mg、ロイコボリン錠 5mg、ワイパックス錠 0.5mg

武田薬品工業株式会社からファイザー株式会社に販売会社変更 (2013年1月1日以降)。

★リウマトレックス cap2mg(一般名:メトトレキサート)＜抗リウマチ薬＞

シートデザイン等変更。





変更前		変更後
 6 カプセルシート	→	 3 カプセルシート シート全体の寸法は変更なし

★アセチルスピラマイシン錠(一般名:スピラマイシン酢酸エステル)＜抗菌薬＞(緊急購入薬)

協和発酵キリン株式会社から株式会社陽進堂に製造販売承認承継、販売移管 (2013年2月1日より)。

★ミラペックス LA 錠 0.375・1.5mg(一般名:プラミペキソール塩酸塩水和物)＜抗パーキンソン病薬＞

アルミシート色調変更 (0.375mg については従来とほとんど変わらない色調)。

変更前			変更後	
 0.375mg	 1.5mg	→	 0.375mg	 1.5mg

★5FU 注 1000mg(一般名:フルオロウラシル)＜抗悪性腫瘍薬＞

使用期限変更。(変更前) 2年→(変更後) 3年

「禁忌」追加等のお知らせ

- ★イリボー錠 5 μ g(一般名:ラモセトロン塩酸塩)＜過敏性腸症候群治療薬＞
 - ★ナゼア OD 錠 0.1mg、注射液 0.3mg(一般名:ラモセトロン塩酸塩)＜制吐薬＞
- 【禁忌】本剤成分過敏症既往歴

「用法・用量」追加のお知らせ

- ★マキユイド硝子体内注用 40mg(一般名:トリアムシノロンアセトニド)＜硝子体内注用副腎皮質ホルモン薬＞
【効能・効果】糖尿病黄斑浮腫
【用法・用量】40mg/mLになるように用時懸濁し、4mg(懸濁液として0.1mL)を硝子体内投与。
- ★アフィニトール錠 5mg(一般名:エベロリムス)＜抗悪性腫瘍薬＞
【効能・効果】(1)結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 (2)結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫
【用法・用量】(1)1日1回10mg(適宜減量) (2)1日1回3.0mg/m²(適宜増減)
- ★トラクリア錠 62.5mg(一般名:ボセンタン水和物)＜エンドセリン受容体拮抗薬＞
【効能・効果】肺動脈性肺高血圧症(WHO機能分類クラスII)
- ★ボトックス注用 50単位・100単位(一般名:A型ボツリヌス毒素)＜A型ボツリヌス毒素製剤＞
【効能・効果】重度の原発性腋窩多汗症
【用法・用量】片腋窩あたり50単位を、複数の部位(10~15ヵ所)に1~2cm間隔で皮内投与。再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、4ヵ月以内の再投与は避ける。

院内副作用報告

- ★2012年10月に報告された副作用

医薬品	副作用名
アクトヒブ、ロタリックス	特発性血小板減少性紫斑病
アーチスト錠	心抑制

削除薬のお知らせ

下記薬剤のオーダ中止

オーダ中止日	商品名	備考
2012.11.7	ニコチネル TTS10,20,30	在庫がなくなったため(オンブリス吸入用 cap 採用のため)
2012.11.7	ザジテン DS1mg/g	在庫がなくなったため(アロック顆粒 0.5%採用のため)
2012.11.19	エポジンシリンジ 3000U,12000U	エポエチンアルファ BS 注シリンジ、ミルセラ注シリンジと切り替え
2012.11.22	フィニバックス点滴静注用 0.25g	フィニバックス点滴静注用 0.5g と切り替え
2012.12.5	メインテート錠 5mg	メインテート錠 0.625mg、2.5mg と切り替え
2012.12.10	0.02%フルメトロン点眼液 5mL	在庫がなくなったため(ベカロン0.6眼粘弾剤 1%採用のため)
2012.12.11	エポジンシリンジ 6000U	エポエチンアルファ BS 注シリンジ、ミルセラ注シリンジと切り替え